

水門・樋門ゲート設計要領(案) (平成 24 年 5 月発行・第 3 刷用) 正誤表

頁	行数		誤 (現行)	正	変更年月
	上から	下から			
46		9 行目	また、水門・樋門用ゲートでラック式を用いて押下げる場合は、...	また、水門・樋門用ゲートで押下げができる開閉装置形式の場合は、...	H28. 1. 25
107	式(3. 1. 4-1)		$t_f \leq \frac{b_f}{16}$	$t_f \geq \frac{b_f}{16}$	H24. 8
227		2 行目	したがって、損失圧力の算定に使用する油圧シリンダの無負荷作動圧力は、図 4. 3. 4-1 から読み取るものとする。	しかしながら、油圧シリンダの無負荷作動圧力は、圧力供給方向、パッキン形状・枚数、使用圧力等により図 4. 3. 5-1 に示す値より大きくなることがあるため、損失圧力の算定に使用する無負荷作動圧力は、実状にあった無負荷作動圧力を検討し、設定するものとする。	H28. 1. 25
342		9 行目	スキャンプレート	スキンプレート	H24. 8
347	4 行目		$= 42907.6 \times 10^4(mm^4)$	$= 42939.0 \times 10^4(mm^4)$	H28. 1. 25
347	6 行目		$Z_t = \frac{I}{e_1} = \frac{42907.6 \times 10^4}{243.8} = 1760.0 \dots$	$Z_t = \frac{I}{e_1} = \frac{42939.0 \times 10^4}{243.8} = 1761.2 \dots$	H28. 1. 25
347	7 行目		$Z_c = \frac{I}{e_2} = \frac{42907.6 \times 10^4}{255.2} = 1681.3 \dots$	$Z_c = \frac{I}{e_2} = \frac{42939.0 \times 10^4}{255.2} = 1682.6 \dots$	H28. 1. 25
348		7 行目	$\sigma_t = \frac{40.164 \times 10^6}{1760.0 \times 10^3} = 23 \dots$	$\sigma_t = \frac{40.164 \times 10^6}{1761.2 \times 10^3} = 23 \dots$	H28. 1. 25
348		5 行目	$\sigma_c = \frac{40.164 \times 10^6}{1681.3 \times 10^3} = 24 \dots$	$\sigma_c = \frac{40.164 \times 10^6}{1682.6 \times 10^3} = 24 \dots$	H28. 1. 25
349	6 行目		$\tau = \frac{S}{A_w'} = \frac{159.962 \times 10^3}{27.4 \times 10^2} = 58 \dots$	$\tau = \frac{S}{A_w'} = \frac{159.962 \times 10^3}{27.2 \times 10^2} = 59 \dots$	H28. 1. 25
349		11 行目	$\sigma_g = \sqrt{24^2 + 3 \times 58^2}$	$\sigma_g = \sqrt{24^2 + 3 \times 59^2}$	H28. 1. 25
349		10 行目	$= 103(N/mm^2) \dots$	$= 105(N/mm^2) \dots$	H28. 1. 25
479		1~3 行目	合成応力度 $\tau = \tau_x + \tau_y$ $= 42 + 7 = 49(N/mm^2) \dots$	合成応力度 $\tau = \sqrt{\tau_x^2 + \tau_y^2}$ $= \sqrt{42^2 + 7^2} = 43(N/mm^2) \dots$	H29. 6